

---

2011年2月15日



## ONNET 日報インストール手順書

### 改訂履歴

09/03/30	(2章6) IIS の設定、(3章2と3) パス名の追加
09/12/04	初版の問題点を修正
10/10/04	仮想ディレクトリ設定と INI ファイル記述の修正
11/01/21	INI ファイル記述の修正、SQLServer 接続許可設定追加
11/02/15	SMTP 設定箇所の追加



株式会社 オンネット・システムズ

---

## ★目次★

第 1 章	利用にあたって	3
1	利用環境	3
2	インストールに必要な知識	3
3	インストール説明の範囲	3
4	利用条件遵守について	3
5	セキュリティ対策	3
第 2 章	インストール手順	5
1	前提ソフトのインストール	5
2	ダウンロード	5
3	使用許諾の確認	5
4	ダウンロードファイルのセット	5
5	DB 環境の準備	5
6	IIS の設定	9
7	設定パラメータの変更	10
第 3 章	管理用 CSV 作成機能の実行環境構築	13
1	GPL との関係	13
2	OHJH5030.ini(ASP ディレクトリ)の編集	13
3	OHJB5020.exe 関連の System.ini 編集	13
4	XML ファイルの記述	14
第 4 章	動作確認	17
1	動作確認について	17
2	ログイン画面の表示	17
3	パラメータの表示	17
第 5 章	項目名のカスタマイズ	18
1	仕事を管理するためのデータ項目理解	18
2	カスタマイズの要望について	18
3	カスタマイズ部分(ASP ディレクトリ内、Web.config)	19
第 6 章	補足事項(必ずお読みください)	21

---

## 第1章 利用にあたって

### 1 利用環境

以下に、利用環境を示します。提示した内容は、あくまで(株)オンネット・システム社(以下、ONNET)で利用実績のあるもので、別環境での利用も可能性があると思います。

#### ①OS、WEB サーバ

Windows2003R2Server、IIS6.0 を利用

#### ②DBMS

SQL Server2005 及び SQL Server2005 Express Edition

#### ③.NET Framework

.NET Framework2.0

#### ④言語

C#で記述しています。また、表示部と業務機能部(XML-WEB サービスの利用)を分けて、プログラミングしています。

\* 2011年1月 Windows7 Pro. IIS + SQLServer2008R2 でも稼働しています

\* 画面説明は、Windows2003 サーバになっていますので、適宜、読み替えてください

### 2 インストールに必要な知識

OS、IIS の構成設定に関する知識、DBMS 操作知識(SQL、認証など)、.NET Framework 上でのプログラム動作理解などの前提知識が必要になります。

また、表示部と業務機能部が XML-WEB サービスとして分離されていますので、この辺りの知識も必要になります。

### 3 インストール説明の範囲

本書で、記述するインストール手順には、OS 設定、DBMS 設定、.NET Framework を含んでおりません。

マイクロソフト社の技術資料を参照の上、本システムインストールの前に、インストール及び、動作確認を済ませておく必要があります。

### 4 利用条件遵守について

ONNET 日報(以下、日報システム)の C#ソースコード及びデータ、各種定義体につきましては、GPL に則り配布いたします。

しかし、1 項で挙げました各種環境につきましては、開発元、販売元の使用許諾の内容を遵守願います。

---

5 セキュリティ対策

日報システムは、社内イントラネットでの利用を前提に開発しています。従いまして、インターネットによる利用につきましては、十分な注意が必要であることを認識願います。

今後のバージョンにつきましては、インターネット利用を条件にセキュリティ対策を順次講じていく考えです。

## 第 2 章 インストール手順

### 1 前提ソフトのインストール

日報システムのインストールを行う前に、以下の環境を準備し、動作確認を済ませてください。

- ① OS のインストール
- ② IIS6.0 のインストール
- ③ SQL Server2005 もしくは SQL Server2005 Express Edition
- ④ .NET Framework2.0

### 2 ダウンロード

<http://www.onnet.ne.jp> ダウンロードページより必要ファイルをダウンロードしてください。

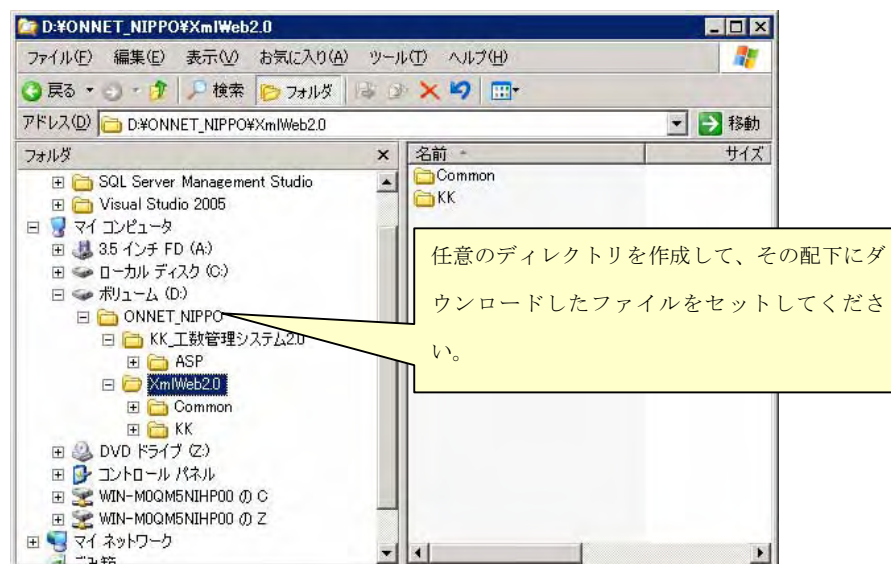
### 3 使用許諾の確認

ダウンロードファイルに同梱されている、使用許諾を確認し、同意の可否を確認してください

### 4 ダウンロードファイルのセット

以下の作業はサーバ上で行ってください。

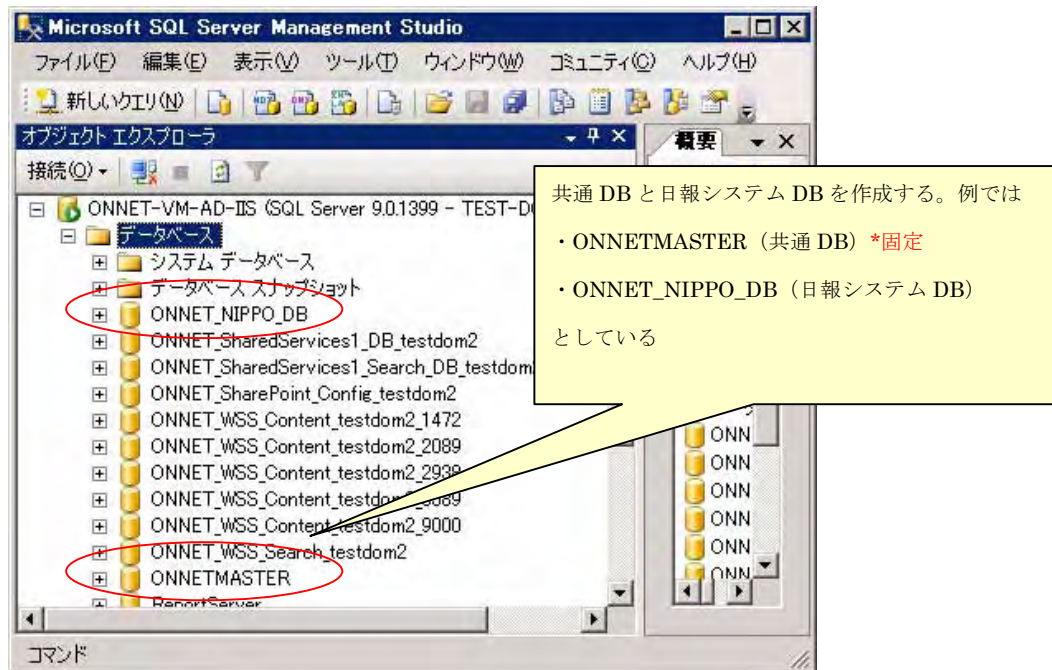
セットしたディレクトリを IIS から参照します(後述)



### 5 DB 環境の準備

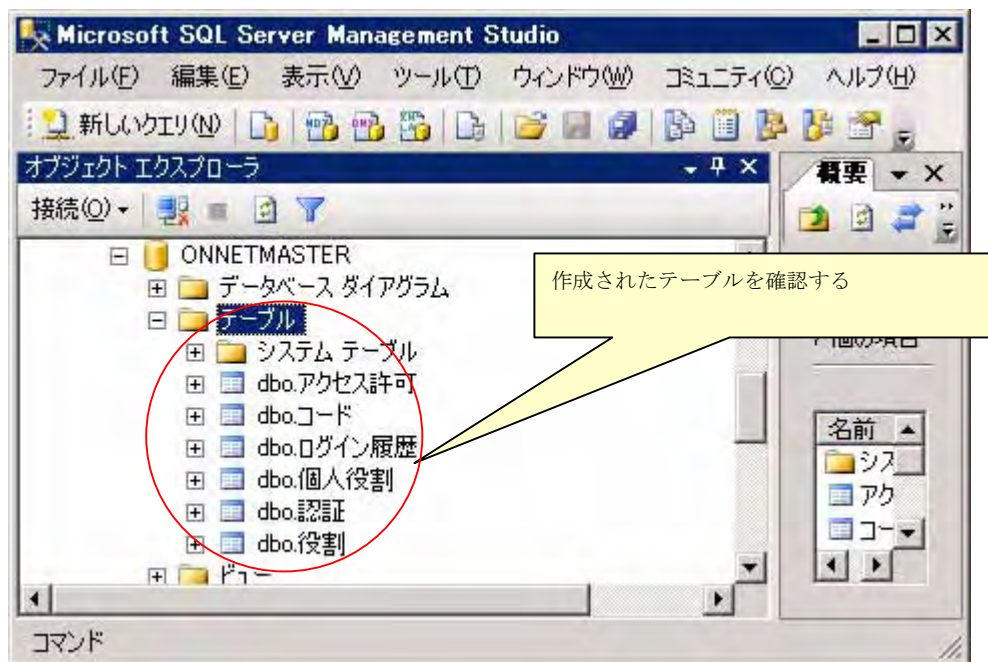
DB 管理ツールで行う(SQL Server2005 の場合)。DB 管理ツール利用までの設定は、マイクロソフト社サイトなどで確認願います。

### ①DB の作成



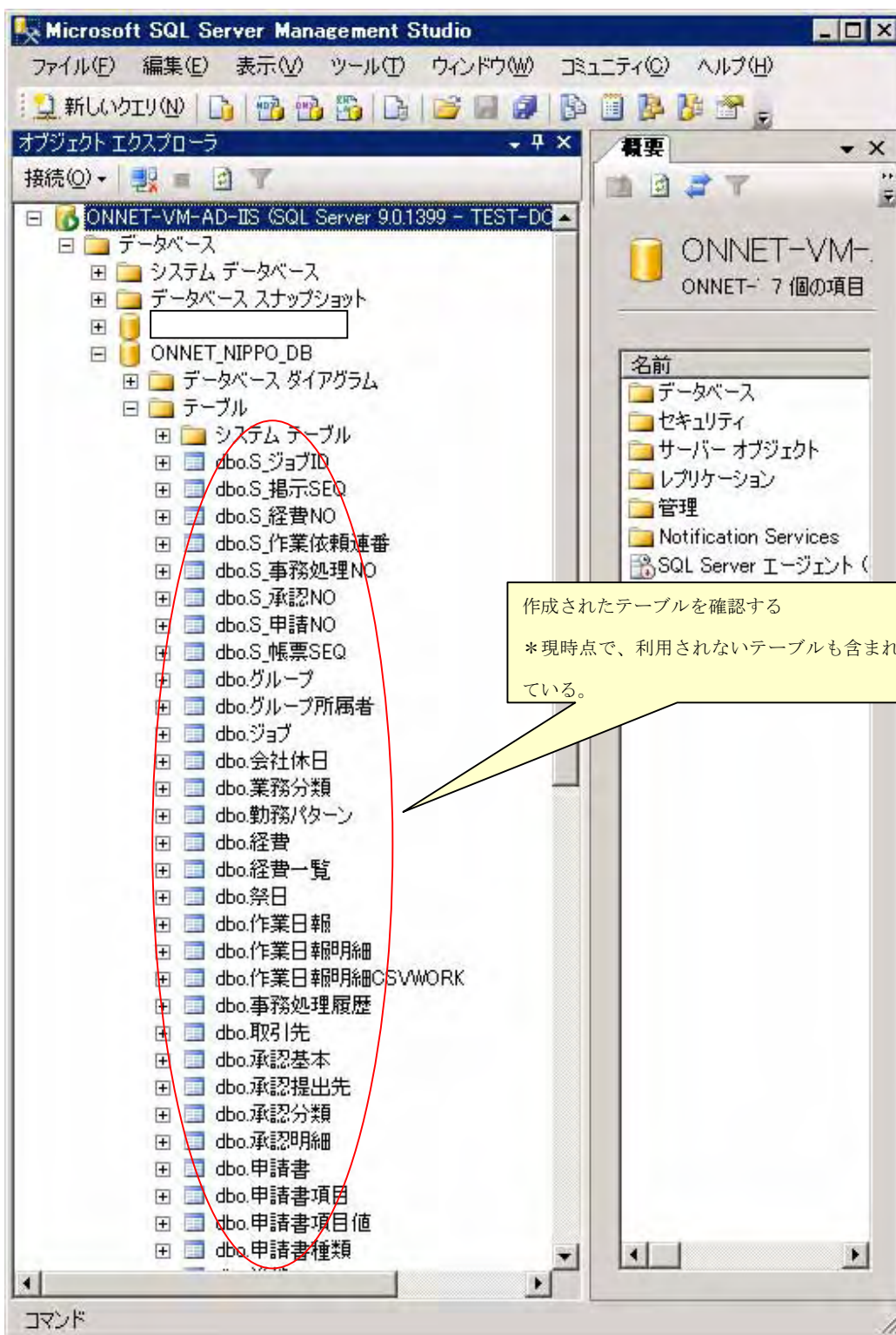
### ②共通テーブルの作成(必ず最初に行うこと)

- ・ダウンロードしたスクリプト(SQL)を実行してテーブルを作成する
- ・SQL ファイル (NIPPO\_SETUP\_SQL¥NIPPO\_MASTER.sql を実行)



### ③日報システムテーブルの作成

- ・ダウンロードしたスクリプト(SQL)を実行してテーブルを作成する
- ・SQL ファイル (NIPPO\_SETUP\_SQL¥NIPPO\_DB.sql を実行)



---

#### ④初期設定データ

本システムはインストールしただけでは動作しません。以下の初期データが必要です。

データは、前項の各テーブル作成時に実行した NIPPO\_MASTER.sql 及び NIPPO\_DB.sql により作成されます。

ですので、本項は簡単な補足説明ですので、インストールをまず試したい場合は、読み飛ばして頂いてOKです。

データの内容は DB 管理ツールあるいは、SQL により内容確認が可能です。

- ・初期ユーザの設定

共通 DB: 認証に対して設定します (SYSTEM / PASSWORD)

- ・祭日の設定

2009 年の祭日を日報システム祭日に設定します。本処理は画面からでも可能です。

- ・コードの設定

共通 DB: コードに初期コードを設定します。内容は利用に合わせて画面にて適宜変更する必要があります

- ・役割の設定

共通 DB: 役割に作業者、作業管理者、システム管理者を設定します。

- ・個人役割

共通 DB: 個人役割に、個人と役割を関連付けします。

- ・アクセス許可

共通 DB: アクセス許可に役割毎に許可する機能を対応付けます。

以上が、NIPPO\_MASTER.sql により共通 DB (ONNETMASTER(固定名)) にセットする内容です。

- ・グループ

グループとは、所属組織、チームなどを意味しています。

- ・グループ所属者

グループに対してだれが(個人)が所属するかを設定します。

- ・取引先とジョブ

ONNET 日報では、仕事を取引先(項目名変更可)とジョブの組み合わせで管理します。

- ・勤務パターン

勤怠情報を入力する際、定型化されている作業の入力を簡単にする時に設定します。

- ・経費関連

---

交通費、図書費などの購入データです。

- ・祭日

成人の日、建国記念日などを設定しています。

- ・日報関連

複数のテーブルから成り、仕事の工数及び、勤怠情報(出社、退社時刻など)を管理します。

- ・承認関連

複数のテーブルから成り、承認ルート、承認方式などを設定しています。

- ・申請書関連

出張伺い、年休取得伺いなどを設定しています。申請書の種類は、自由に追加、変更可能です。

- ・業務分類と進捗

単なる分類項目として設定しています。業務分類、進捗の項目名は業務分類 1、業務分類 2 などと自由に変更可能です。

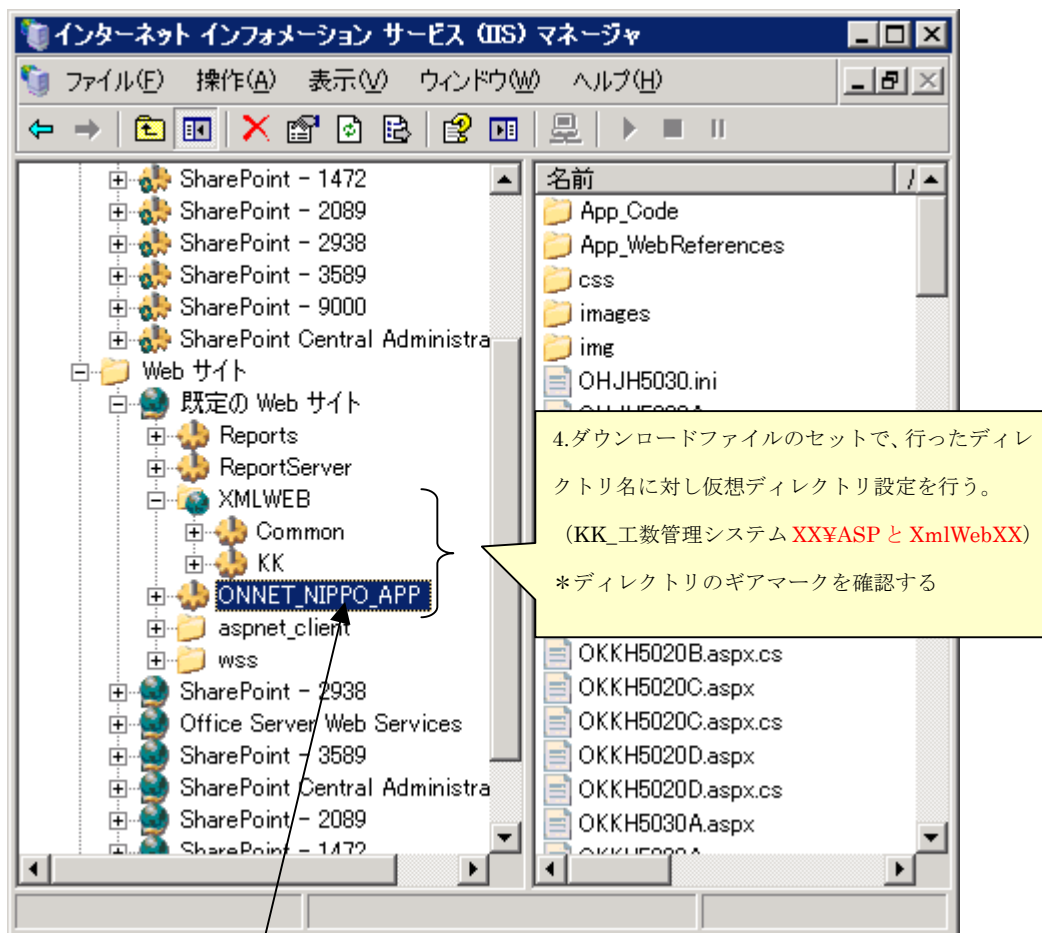
以上が、NIPPO\_DB.sql により日報管理上のデータ(例: ONNET\_NPPO\_DB)にシステム理解の目的としてサンプルデータとしてセットしています。

実際の利用に当たっては修正する必要があります。

## 6 IIS の設定

### ①仮想ディレクトリの設定

設定例を示します



(注意)ダウンロードファイルでは「KK\_工数管理システム 2.0」となっているので、そのまま利用してもよい。ここでは「ONNET\_NIPPO\_APP」としている

また、XMLWEB のアプリケーション設定は、配下の Common と KK の位置に対して行う。ギアマークになっていることを確認。

尚、「ASP などのスクリプトを実行する」にチェックを入れる

## 7 設定パラメータの変更

### ①KK ディレクトリ(System.ini) XMLWebXX ¥ KK 配下

[SQLSERVER]

Connection=DataSource=127.0.0.1;Initial Catalog=ONNET\_NIPPO\_DB;Integrated Security=SSPI;

Connection=Data Source=127.0.0.1¥sqlexpress;Initial Catalog=ONNET\_NIPPO\_DB;Integrated Security=SSPI;

[SMTPSERVER]

SmtpServer=192.168.10.214

MailFrom=onnet@onnet.ne.jp

[行動予定]

DB 接続文字列

上段：製品版の例

下段：express 版の例

SMTP サーバアドレス

From メールアドレス

時刻範囲=08-20

現バージョンでは未使用 (ダミー記述)

時刻刻み=15

[格納フォルダ]

KeijiPath=D:\%USER%\テスト環境\O\_オンネット・システムズ\KK\_工数管理システム 2.0\ASP\OKKH0430\添付フォルダ\

現バージョンでは未使用 (ダミー記述)

[URL]

KeijiURL=http://test.test/test/

現バージョンでは未使用 (ダミー記述)

## ②KK ディレクトリ (Web.config)

<appSettings>

<add key="ONCW5010.ONCW5010" value="http://127.0.0.1:80/XmlWeb/Common/ONCW5010.asmx"/>

</appSettings>

インストール位置に従って、仮想ディレクトリで記述する

(注意)

Identity タグのユーザとパスワードを Windows のアカウントとパスワード (Windows 認証の場合) を設定する

<identity impersonate="true"

userName="USER-ID"

←-----Windows ログインに合わせて設定

password="PSSWORD" />

## ③Common ディレクトリ (System.ini)

[SQLSERVER]

Connection=Data Source=127.0.0.1;Initial Catalog=ONNETMASTER;Integrated Security=SSPI;

DB 接続文字列

ONNETMASTER は固定

[SMTPSERVER]

SmtServer=192.168.10.214

MailFrom=onnet@onnet.ne.jp

SMTP サーバアドレス

From メールアドレス

[行動予定]

時刻範囲=08-20

時刻刻み=15

現バージョンでは未使用 (ダミー記述)

[格納フォルダ]

KeijiPath=D:\%USER%\テスト環境\O\_オンネット・システムズ\KK\_工数管理システム 2.0\ASP\OKKH0430\添付フォルダ\

[URL]

現バージョンでは未使用 (ダミー記述)

KeijiURL=http://test.test/test/

現バージョンでは未使用 (ダミー記述)

#### ④ Common ディレクトリ (Web.config)

<appSettings>

<add key="ConnectionString.DataSource" value="127.0.0.1" />

<add key="ConnectionString.InitialCatalog" value="ONNETMASTER" />

<add key="ConnectionString.IntegratedSecurity" value="SSPI" />

</appSettings>

DB 接続文字列

ONNETMASTER は固定

(注意)

Identity タグのユーザとパスワードを Windows のアカウントとパスワード (Windows 認証の場合) を設定する

<identity impersonate="true"

userName="USER-ID"

←-----Windows ログインに合わせて設定

password="PSSWORD" />

---

## 第3章 管理用 CSV 作成機能の実行環境構築

### 1 GPL との関係

ONNET 日報のメニュー[日報管理]―[管理用 CSV 作成]より実行されるプログラム (OHJB5020.exe)は、任意の SQL Server に対し、予め記述された SQL 文を実行し、結果を CSV 形式で得るためのものです。

本プログラムはGPLであるONNET日報とは別開発されたものであり、実行モジュールのみ (ソースコードの開示は致しません)の提供となります。あくまで、ONNET日報とは独立した機能の提供となります。

但し、ONNET 日報に限らず利用するひとつのサーバ、ひとつの SQL Server (他サーバでも良い)の範囲において、自由に利用できるものとします。

本モジュールを複数のサーバで実行させたい場合は、(株)オンネット・システムズまでご連絡ください。

### 2. OHJH5030.ini (ASP ディレクトリ)の編集 (KK\_工数管理システム 2.0¥ASP)

[ファイル]

①CsvListXmlPath=D:¥ONNET\_NIPPO¥KK\_工数管理システム 2.0¥CSV¥

②CsvListXmlFile=CSV 出力.xml

③OutputCsvPath=D:¥ONNET\_NIPPO¥KK\_工数管理システム 2.0¥CSV¥

④ExecuteFilePath=D:¥ONNET\_NIPPO¥KK\_工数管理システム 2.0¥CSV¥

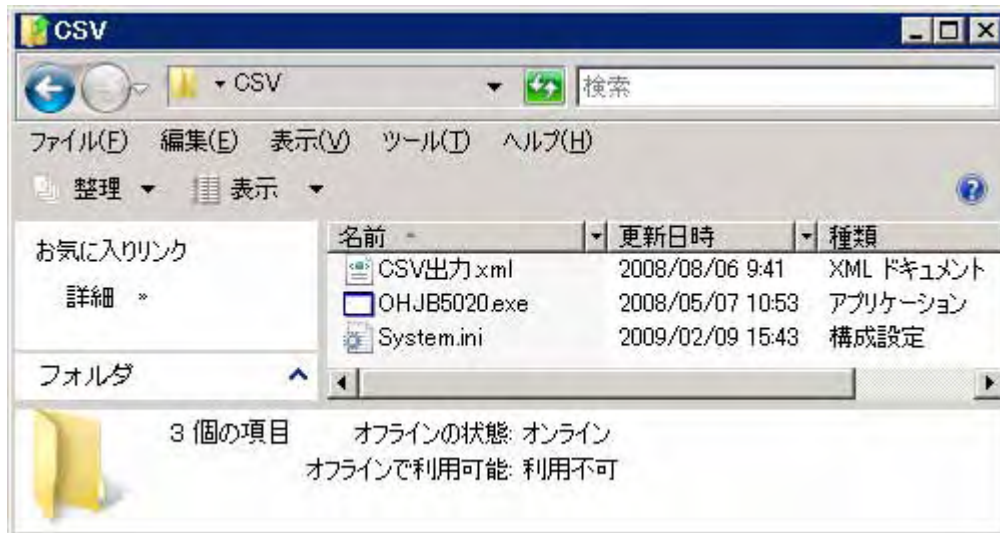
①②は、OHJB5020 に指示するための SQL 文記述ファイルを示します。

③は、実行結果 (CSV) を出力するディレクトリです。

④は、OHJB5020.exe を格納する場所です。

### 3 OHJB5020.exe 関連の System.ini 編集 (KK\_工数管理システム 2.0¥CSV)

前項 (2 項の④) で示すディレクトリに以下の通り配置されている



この System.ini ファイルの SQL Server 接続文字列を利用環境に合わせて変更する。

[SQLSERVER]

Connection=Data Source=127.0.0.1;Initial Catalog=ONNET\_NIPPO\_DB;Integrated Security=SSPI;

[格納フォルダ]

LogPath=

(注) LogPath の設定をしなければ、同一ディレクトリに出力される

#### 4 XML ファイルの記述

本章、第 2 項の①②で指定された XML ファイルに SQL 文を記述します  
サンプルを以下に示します。

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS" ?>
```

```
<CSV リスト>
```

```
<CSV>
```

```
<TITLE>作業日報明細(25日締め当月分)</TITLE>
```

```
<SQL>
```

```
SELECT 作業 YYYYMMDD,USERNAME,ジョブ ID,ジョブ名,作業内容,開始時刻,終了時刻,除外時間,作業
時間,最終更新者 ID,作成日,更新日
FROM V_作業日報明細
where 作業 YYYYMMDD
between
```

---

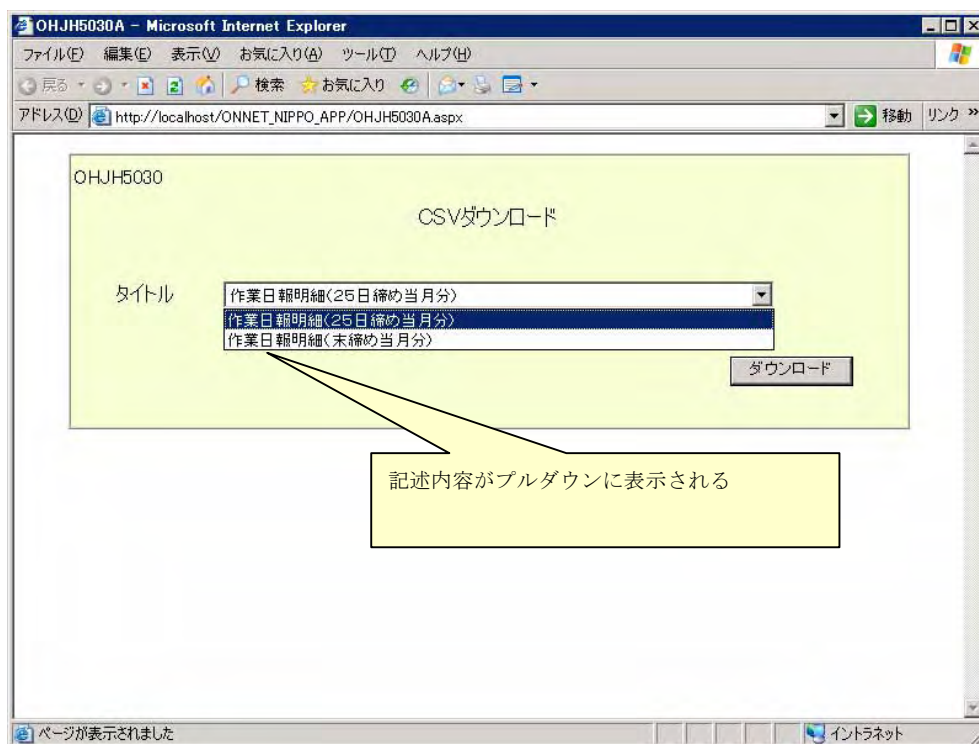
```

substring(convert(char,DATEADD(day,-1,convert(datetime,substring(convert(char,getdate(),112),1,6)
'01',112)),112),1,6) + '26' and substring(convert(char,getdate(),112),1,6) + '25'
order by 作業 YYYYMMDD,USERNAME,開始時刻
</SQL>
<HEADER>ON</HEADER>
</CSV>
<CSV>
<TITLE>作業日報明細(未締め当月分)</TITLE>
<SQL>
SELECT substring(作業 YYYYMMDD,1,6) 作業 YYYYMM,作業 YYYYMMDD,USERNAME,ジョブ ID,ジョブ
名,作業内容,開始時刻,終了時刻,除外時間,作業時間,最終更新者 ID,作成日,更新日
FROM [SSMA].[dbo].[V_作業日報明細]
where 作業 YYYYMMDD between substring(convert(char,getdate(),112),1,6) + '01' and
convert(char,getdate(),112)
order by 作業 YYYYMMDD,USERNAME,開始時刻
</SQL>
<HEADER>ON</HEADER>
</CSV>
</CSV リスト>

```

①黄色文字の説明

[日報管理]—[管理用 CSV 作成]で表示されます。



②灰色文字の説明

任意の SQL 文を記述します。

③青色文字の説明

ダウンロードボタンで CSV ファイルを取得しますが、その際、ファイルの先頭に項目名を付加する(ON)か否か(OFF)を指定する。

## 第 4 章 動作確認

### 1. 動作確認について

インストール作業が終了しましたら簡単な動作確認を実施します。以下の動作が確認されましたら、インストール作業は、無事終了したと言えるでしょう。

### 2 ログイン画面の表示

ブラウザに対して URL を入力してください

(例)

[http://localhost/ONNET\\_NIPPO\\_APP/OKKH5020A.aspx](http://localhost/ONNET_NIPPO_APP/OKKH5020A.aspx)

\* 仮想ディレクトリの設定に合わせてください。

\* localhost は、設定したアドレスに合わせてください。

本 URL が ONNET 日報のスタート画面になります。「お気に入り」などに登録しておくとい良いでしょう。

次にログインを試みてください。

初期設定用 ID とパスワードは以下の様になっています。

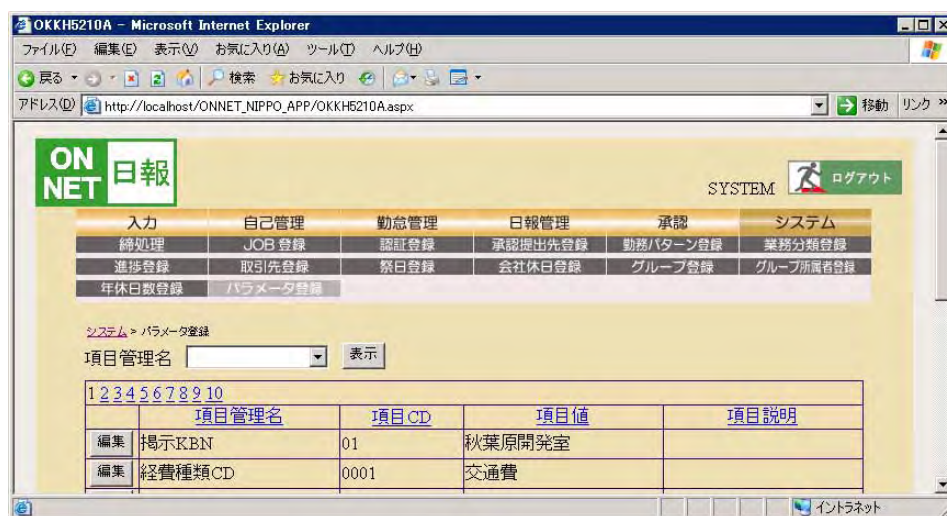
SYSTEM / PASSWORD (全て大文字) \* 一部操作できない画面があります

(訂正) admin/admin がすべての画面操作を許可しています。

### 3 パラメータの表示

ログインが終了すると以下の画面が表示されるので、メニューから[システム]ー[パラメータ登録]を選択します

以下の画面が表示されれば OK です。



---

(注意)初期インストールでは、メニューが押せなくなっている。解除する場合には、DB 内の「アクセス許可」テーブルのレコードを削除すれば利用可能となる。

---

## 第5章 項目名のカスタマイズ

### 1 仕事を管理するためのデータ項目理解

「ONNET 日報」での仕事は、以下の項目で関係付けられています。

#### ①取引先とJOB(仕事の定義)

本システムは、(株)オンネット・システムズ社内(工数管理、保守工数の請求業務など)で使われてきたこともあり、取引先毎に、仕事を関係付けております。

従いまして、同じJOB(仕事)でも、取引先毎に登録する必要があります。

#### ②作業分類と進捗

これらは、①で関連付けした仕事に、管理情報として付加したものです。(株)オンネット・システムズでは、作業分類と進捗という分類を付加したのです。作業分類には、「インフラ構築」「営業」「システム開発」などを定義し、進捗には、「要求定義段階」「構築段階」「テスト段階」などを定義しています。

これら、作業分類と進捗は、両者で関連付けをしていません。全く独立しています。

### 2 カスタマイズの要望について

本システムの他社導入に当たって、仕事の定義が使いづらいという意見が寄せられました。その多くは、「仕事が取引先と紐付くのは使いづらい」というものでした。もちろん、「そのままが良い」という意見もあります。

また、作業分類と進捗は、蓄積した日報データを集計する場合のキーとして使うのであり、作業分類と進捗という項目名に限定されない方が使いやすいとも考えました。

これらの要望を考慮しまして、これらの項目名を変更出来るようにしました。

(注意事項)

**★★項目名を変更すると、画面に表示される項目名のみが変更となります**

・DB の項目名は、変更されませんので、データ利用の際には、読み替えて利用して下さい。

・取引先名の項目を変更したばあいは、取引先入力画面の取引先名の項目を利用してデータ入力してください

・メニューの項目名が画像ですので、利用者で変更してください

---

3 カスタマイズ部分 (ASP ディレクトリ内、Web.config)

最後尾付近にあります。下線部の部分を変更願います。

```
<add key="OnnetSystems.Applications.KK.項目CD00" value="取引相手" />
```

```
<add key="OnnetSystems.Applications.KK.項目CD01" value="業務分類 1" />
```

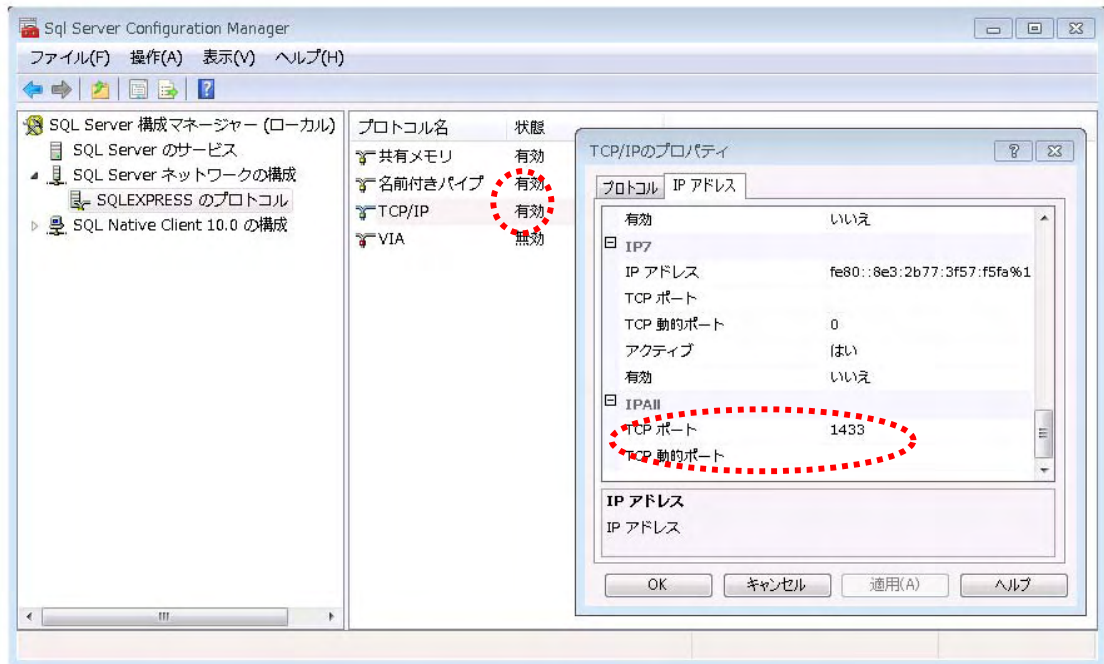
```
<add key="OnnetSystems.Applications.KK.項目CD02" value="業務分類 2" />
```

## (参考) 補足事項

### 1. SQLServerのリモート接続許可設定

当社の経験では、SQLServer のリモート接続を許可しないと ONNET 日報がうまく動作しませんでした。

ここでは、SQLServer2008R2 の場合と設定方法を示します



- ① SQLServer 構成マネージャーの「ネットワーク構成」→「プロトコル」を開き「名前付きパイプ」と「TCP/IP」を有効にします
- ② TCP/IP のプロパティを開き、TCP ポートを 1433、TCP 動的ポートを空白にします
- ③ データベースの再起動を実施します。

---

## 2. 申請書の提出連絡メール設定について

本システムでは、申請書(定義により複数の申請書を定義することが可能)の承認依頼が承認ルートで定義された承認者に連絡メールが送信されます。

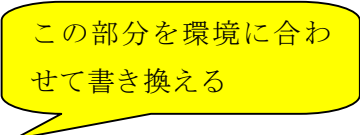
### ① XmlWeb2.0¥KK¥system.ini の修正

SMTP サーバの設定をする必要があります。

```
[SQLSERVER]
Connection=Data Source=akiba-54;Initial Catalog=SSMA;User ID=任意設定;pwd=任意設定;

[SMTPSERVER]
SmtpServer=192.168.10.214
MailFrom=onnet@onnet.ne.jp

[行動予定]
時刻範囲=08-20
時刻刻み=15
```



### ② [システム]-[認証登録]のユーザ全員にメールアドレス指定をする

アドレス設定していないと、メール送出時にエラーになります。必ず、全員のメール指定をしてください。